

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 7/29/2018

- 参加プログラム: Tsinghua International Summer School (AUA)
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-AEARU-summer.html>
- 派遣先大学: 清華大学
- プログラム期間: 7/15/2018 ~ 7/27/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部
- 学年(プログラム開始時): 学部 4

|   |
|---|
| ■参加にあたってこの時期を選んだ理由:   |
| 今学期は試験等なく、ちょうどよかったため。   |
| ■参加を決めるまでの経緯:   |
| 参加はかなり直前に決めた。夏休みに短期でいけるプログラムを探していたところ、とても魅力的なものがあつたので、特に迷うことなく応募した。航空券以外ほとんど無料だったこと、中国について知りたいと思っていたこと、清華大学というアジア有数の大学で経験を積みたかつたこと、参加時期が自分にとってちょうどよかったこと、等が動機だった。 |

### プログラムについて

|  |
|--|
| ■概要:   |
| とても良いプログラムで、強くオススメしたい。世界中のトップ大学生、院生(ex, Princeton, Cornell, Cambridge, Oxford, LSE, ETH, NUS)を 300 人以上無料招待して(来年はさらに参加者を増やすとのこと)、11 の track に別れ、プログラムが行われた。私は Industry Frontier という track に所属し、中国国内の先端産業について勉強した。Program は多くのフィールドトリップ(ex, Huawei, Microsoft 北京支社、北京内の Startup や Incubator)、教授からの講義、そしてグループワークを中心に行われた。30 人ほどのメンバーが 5 つのグループに別れてグループワークが行われ、私たちの班は Sharing Economy について理解を深めるべく Airbnb のケーススタディを行った。2週間で Webpage 2つ、50ページほどのパンフレット一つ、ポスター1枚、そして感想文を提出する必要がある、大変ハードだったが、糧になったと思う。何より、世界中の優秀な学生や中国トップの教諭陣、現地企業等との関わりの中で多くの気づきや学びがあつた。 |
| ■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:   |
| 文化活動   |
| ■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかつた理由:  |
| 学校が用意していたツアーに参加した。   |
| ■週末の過ごし方:  |
| プログラムの一環として土曜日には万里の長城、日曜日には故宮へのツアーが組まれていた。その他の空き時間には他の参加学生や清華大学の学生と街で食事、バー、カラオケ、クラブ、ショッピング、観光等に出かけ、充実していた。   |

## 派遣先大学の環境について

### ■設備:

全体的に設備は整っており、慣れてしまえば特に不便なことはなかった。ただ、公衆トイレは汚く、トイレトイレットペーパーは置かれていないので、携帯していた。

### ■サポート体制:

学習面、生活面では TA や先生等の手厚いサポートが受けられた。語学面と精神面では特に問題がなかったのわからない。

## プログラム期間中の生活について

### ■宿泊先の種類:

学生寮

### ■宿泊先の様子、どのように見つけたか:

寝室は一人部屋で、バスルームをもう一人とシェアした。参加学生の大半は完全な一人部屋だった。自分はルームシェアが好きなので結果的によかった。清華大学から指定される。

### ■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:

空気がやや汚い。夏は蒸し暑く、突然の大雨も多い。大学のすぐ近くに賑やかな街があり、他の参加学生とよく夜に遊びに行った。交通機関は充実している。大学内は徒歩か、レンタル自転車。大学の外は電車、タクシー、ディーディー(中国版 Uber)が使える。食事は大学内の食堂が安く、メニューも豊富。塩分、油分が多く、辛いものも多いので、しっかり水分をとって運動するのと、下痢止め等持参する。

### ■お金の管理方法、現地の通貨事情:

清華大学がかなりの費用を負担してくれたので、現地にいた二週間では1万五千円ほどしか使わなかった。1万円は日本で両替して持参し、あとは大学内の ATM から出した。大学内に両替所や ATM がある。Visa や Master Card の Credit、Debit Card があると便利。中国では WeChat Pay や Alipay 等オンライン決済が充実しているが、基本的に中国国内に口座がないと利用できないので、現金かクレジットで生活しましょう。WeChat Pay しか受け付けられない自販機やレジ等もあるので、その場合は現地の友達にお願いしましょう。

### ■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:

治安は安全な方だと思う。医療期間は受診しなかった。野菜をしっかり食べること、常備薬やサプリを持参すること。塩分と油分が全体的に多いので、しっかり水分補給して運動すること。危機管理については、キャンパス外に出る際は集団行動すること。英語がほとんど通じないので、中国語の話せる中国人、シンガポール人がグループ内にいるとなお良し。

### ■自由時間に利用した交通手段:

タクシー、列車、滴滴出行(中国版 Uber)

### ■プログラム期間中に利用したネット環境:

キャンパス Wifi、Docomo の海外サービス

## 参加前の準備・手続きについて

### ■プログラムへの参加手続き:

東大から指定された応募書類、清華大学から指定された応募書類など。締め切りをしっかりと確認して前も

|   |
|---|
| って準備しておくこと。確認不足のため応募書類を締め切り前日から記入し始めたのでとても大変でした。                                  |
| <b>■ビザの手続き:</b>   |
| 日本国籍かつ15日以内の滞在だったので申請しなくて済んだ。入国書類の目的欄は「観光」にチェックをつけて出した。                           |
| <b>■医療関係の準備:</b>  |
| 常備薬やサプリを持参した。油分や辛さからお腹を下す人が多いので、下痢止めや胃腸薬は持っていきましょう。                               |
| <b>■保険関係の準備:</b>  |
| 東大から指定された加入必須のもの。清華大学側でも準備してくれていたらしい。   |
| <b>■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:</b>  |
| なし  |
| <b>■語学関係の準備:</b>  |
| TOEFL iBT 110、英検一級。TOEFL iBT80 くらいを参加の基準にしていたので、それはクリア必須と思われます。早めにスコアを取得しておきましょう。 |

#### 費用・奨学金に関すること

|                                       |          |
|---------------------------------------|----------|
| <b>■参加するために要した費用:</b>                 |          |
| 航空費                                   | 90,000 円 |
| 派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)                 | 0 円      |
| 教科書代・書籍代                              | 0 円      |
| 海外留学保険料(東京大学指定のもの)                    | 5,500 円  |
| 保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)                 | 0 円      |
| <b>■その他、補足等:</b>                      |          |
| 寮、学費、食費、現地ツアー代、保険等、かなり清華大学が負担してくださった。 |          |
| <b>■留学先で費やした生活費:</b>                  |          |
| 家賃                                    | 0 円      |
| 食費                                    | 7,000 円  |
| 交通費                                   | 1,000 円  |
| 娯楽費                                   | 7,000 円  |
| <b>■その他、補足等:</b>                      |          |
|                                       |          |
| <b>■プログラム参加のための奨学金の受給有無:</b>          |          |
| 受給しなかった。                              |          |

#### プログラムを振り返って

|  |
|--|
| <b>■プログラムに参加したことの意義、その他所感:</b>                         |
| 様々な気づきがあり、大変満足している。以下、主なものをあげさせていただく。<br>①グループワークで得た学び |

常に自分の意見を持ち、主張すること。ネイティブと比べて多少英語が拙くても気にしない。しっかり情報を伝えることが大切なので、ミスを逐一気にしない。自分の体験、また反対に大勢を把握するための統計を入れ、自分の主張に説得力を持たせることの大切さ。

#### ②中国についての学び

- ・国が強いイニシアチブをとって物事を進めている。Wechat をはじめとして、情報の統合や統制が行き届いている。産学官の連携が強く、国策に活かすという明確な目的意識が共有されていた。例えば清華大学のビッグデータセンターは国からの補助金、大企業のテンセントからの情報提供で急拡大していた。
- ・オンライン決済等、一部分野では確実に世界の最先端を行っている
- ・一方で、なおトイレ等のインフラの質、交通マナー、民度、物乞いの多さなど、途上国的な面も多かった
- ・外国人に対する「外面」が良い。例えば清華大学でも国際寮は現地学生寮より格段に質が良い。街中でも、中国人有料、外国人無料のクラブ等がある。
- ・街中ではほとんど英語は通じない。

#### ③清華大学についての学び

- ・今回のプログラムは二週間という短期間で億単位のお金をつぎ込んで運営されていたと思われる。以下の理由から非常に有意義であり、日本の大学も見習うべきである。
- ・世界中の未来のリーダー候補を厚遇で招待し、親中にすることで将来的に外交を優位に進めるための種まき。
- ・世界中のトップ学生の知識、思考方法を「盗む」。
- ・将来の清華大学または中国の他の大学の院へのリクルーティング。プログラム終了直前に清華の院入学の案内イベントがあった。

#### ④日本についての学び

- ・日本に対して好印象を抱く人が非常に多い。アニメ、食事、カスタマーサービス、観光地、トイレやインフラ、建築。
- ・ネガティブな印象を抱く要因としては物価、言語バリアが多く挙げられた。
- ・労働環境やアルコール文化について聞かれることが多かった。
- ・歴史や歴史教育について聞かれることが多かった。特に第二次世界大戦

#### ■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:

就活については終了しているため特に影響はない。「日本のリーダーを目指しつつ、世界を股にかけて働きたい」という自分の思い描くキャリア像が一層強まった。

#### ■進路・就職先(就職希望先):

民間企業、米系コンサルティングファーム内定

#### ■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

長期に比べて参加ハードルが低く、短期間で濃密な学びを得ることができるので積極的に応募してください。

#### ■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物:

Go Global を使ったが、役に立ったかと言われると微妙。

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日：8/6/2018

- 参加プログラム：Tsinghua International Summer School (AUA)
- プログラム情報：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-AEARU-summer.html>
- 派遣先大学：清華大学
- プログラム期間：7/15/2018 ~ 7/27/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等：教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時)：学部2

### ■参加にあたってこの時期を選んだ理由：

必修科目が存在せず、東大の授業に差し支えないため

### ■参加を決めるまでの経緯：

もともと中国には興味があり、清華大学は工学部が高く評価されていて将来留学するとしたら候補に考えていたため、募集要項を見てすぐに参加を決意した。試験期間と完全に重なるが、2S2 タームに必修科目はないので選択科目をうまく選びこのプログラムを優先した。

## プログラムについて

### ■概要：

地理のグループだったが地理だけでなく都市や歴史など中国にまつわるあらゆるテーマのオムニバスの講義が多かった。ただこのグループはフィールドワークも多く、地質博物館や郊外の開発中の都市などにも訪れた。週末には万里の長城と紫禁城や天安門広場に行くオプションツアーもあった。

### ■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：

取り組んでいない。

### ■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：

課題の合間を縫って観光に出かけたのみ。

### ■週末の過ごし方：

オプションのツアーに参加して北京を観光した。

## 派遣先大学の環境について

### ■設備：

食堂は9つある。たくさん食べても230円くらいで安い。Wi-Fiはプリペイド式だったが清華大学が20GBチャージしてくれていた。

### ■サポート体制：

自分のグループには偶然日本人の清華大学本科生がボランティアをやってくれたためとてもお世話になった。他にもTAが何人かついてくれ頼りになった。

## プログラム期間中の生活について

学生寮

|  |
|--|
| ■宿泊先の様子、どのように見つけたか:                                      |
| 清華大学が用意  |
| ■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:                                    |
| 日差しがかなり強い。大学は北京市中心部から電車で1時間ほど離れているが、キャンパス内でほとんどの生活が事足りた。 |
| ■お金の管理方法、現地の通貨事情:  |
| 現金を8,000円分ほど両替して持っていった。                                  |
| ■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:                        |
| 念の為盗難に気をつけた。   |
| ■自由時間に利用した交通手段:  |
| 列車   |
| ■プログラム期間中に利用したネット環境:                                     |
| キャンパス Wifi、SIM   |

#### 参加前の準備・手続きについて

|  |
|--|
| ■プログラムへの参加手続き:                                     |
| 成績表、英語語学試験スコア(IELTS/TOEFL)、英文履歴書、参加希望理由書などを応募時に提出。 |
| ■ビザの手続き:   |
| 15日以内の訪中ゆえビザは取得せず。                                 |
| ■医療関係の準備:  |
| 胃薬を持参しなかったら2週間ずっとお腹を壊していた。                         |
| ■保険関係の準備:  |
| 東大側が指定した保険に加入                                      |
| ■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:                        |
| 期末試験と完全に重なるため履修登録に注意が必要                            |
| ■語学関係の準備:  |
| IELTS 6.5、スピーキング力が非常に不足していることを実感した。                |

#### 費用・奨学金に関すること

|   |          |
|---|----------|
| ■参加するために要した費用:                                    |          |
| 航空費   | 47,000 円 |
| 派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)                             | 0 円      |
| 教科書代・書籍代  | 8,000 円  |
| 海外留学保険料(東京大学指定のもの)                                | 6,000 円  |
| 保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)                             | 0 円      |
| ■その他、補足等:   |          |
| 奨学生としての派遣だったため、航空券代を除き諸々の必要な経費はほぼすべて清華大学が支払ってくれた。 |          |

|                              |         |
|------------------------------|---------|
| <b>■留学先で費やした生活費:</b>         |         |
| 家賃                           | 0 円     |
| 食費                           | 2,000 円 |
| 交通費                          | 200 円   |
| 娯楽費                          | 1,000 円 |
| <b>■その他、補足等:</b>             |         |
|                              |         |
| <b>■プログラム参加のための奨学金の受給有無:</b> |         |
| 受給しなかった。                     |         |

### プログラムを振り返って

|   |
|---|
| <b>■プログラムに参加したことの意義、その他所感:</b>  |
| 中国の文化・地理・伝統を感受し新たな交友関係を築けたことに加え、自分のやるべきこと・やりたいことが発見できた点でとても意義深い。2 週間は過ごしてみると本当にあっという間で文化も深くは経験できなかったが、世界中の人々と交友を深め、文化にかかるく触れ、自分のするべきことを見出すのには最適な期間だと思う。 |
| <b>■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:</b>  |
| 今度はより長期間にわたって中国を味わってみたいと思うようになった。   |
| <b>■進路・就職先(就職希望先):</b>  |
|   |
| <b>■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:</b>  |
| ぜひ行くと良いと思います。普段と違う環境が自分がすべきことを教えてくれます。  |
| <b>■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物:</b>  |
| 地球の歩き方など  |